

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

令和4年 6月 2日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程1年
氏名	小林知奈

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
宮崎県幸島
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
野生動物・行動生態野外実習
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
令和4年5月9日 ~ 令和4年5月15日 (7日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
幸島観察所、研究員鈴木氏
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
今回の実習では、行動生態学的研究の基本的なスキルを学ぶことを目標に、幸島観察所にて7日間の活動を行った。あいにくの悪天候のため、幸島に渡ることができたのは最後の2日間だけであったが、観察所に滞在した期間も、カメラトラップなど様々な経験を積むことができた。
【スケジュール】
5/9 移動、カメラトラップの設置
5/10 都井岬訪問
5/11 近隣の山で散策
5/12 宮崎市にて博物館
5/13 カメラトラップ回収、データ整理
5/14, 15 幸島にてニホンザル観察
【カメラトラップ】
各々でポイントを選び、自動撮影カメラをセットした。ポイントは、単に動物が通りそうということだけではなく、括ることのできる木を選ぶことや、カメラの向き・角度を調整することも重要であると学んだ。私はイノシシが使いそうな湿地を選んだが、実際にイノシシの姿を撮影することができた。
【都井岬】
都井岬にて御崎馬を観察した。ちょうど出産の時期であったようで、仔馬に会うことができた。特に、黒鹿毛とみられる仔馬は、観察したその日の朝に生まれたようで、へその緒がついたままであった。額に星が出ていたが、そのような柄は、過去に一頭だけいた外馬の血の影響だと聞いた。柄は見た目では判別がつくが、血の影響自体は広く残っているだろうと考え、天然記念物としての御崎馬の維持は簡単ではないという印象を受けた。また、その母親は非常にナーバスになっているようで、近づく人間やオスの個体にたびたび威嚇をしていた。出産が行われた場合に群れのほかのメンバーの行動は何か変わるのだろうか、と疑問に思った。自活しているウマを見たのは初めてであったが、群れ全体がなんとなく同じ方向へ動いていくことを不思議に感じた。
【散策】
GPSを携えて山を散策した。足元は雨でかなりぬかるんでいたが、そのためか、大量のカエルとカニを見ることができた。散策中、鳥の声もしばしば聞こえていたが、一度だけアカショウビンの声を聴くことができた。歩いている最中はどうしても足元に気を取られがちだったが、耳を澄ませたり周りに視線を巡らせることも重要だと感じた。また、途中、古い石畳にカニが住んでいたり、古い社の中にコウモリが住んでいたり、動物が人工物を活用しているシーンに出会った。あらゆるものを利用する動物の力に感心するとともに、人が作ったものは簡単にはならず、ものによっては管理も必要であろうと思った。
【幸島】
ニホンザルを目と鼻の先で観察することができた。今回は時間の制約上テーマを絞ってデータを取ることができなかったが、麦洗い行動やグルーミングなど、興味深い行動を見ることができた。特にグルーミングに興味を持った。ある個体は、いろんな個体にグルーミングをされていた。しかし、グルーミングをしてくれた個体が、グルーミングのお返しを要求しても、スルーするのみで、私が見ていた限り全くグルーミングを返さなかった。鈴木氏に伺うとその個体はランクが高くないようで、それがより一層面白く感

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

じた。グルーミングするメリットは想像に難くないが、なぜグルーミングを返さないのだろうか。嫌われておしまいな

のではないかと感じた。一方で、 α オスがほかのメスに長時間にわたりグルーミングをしている姿も見られた。この2つの状況を見て。グルーミングは、単に社交辞令というだけでなく、仲良しというだけでなく、状況と対応によってさまざまな効果を発揮するのではないかと感じた。もし次の機会があれば、グルーミングとランクに注目し、どのような意味合いがあるのか考えてみたい。

【まとめ】

今回の実習は、結果として、幸島におけるニホンザルの観察だけでなく、幅広い経験をすることができた。この経験を、実際にフィールドに出たときに活かしていきたいと思う。最後に、お世話になった方々に深くお礼申し上げます。ありがとうございました。

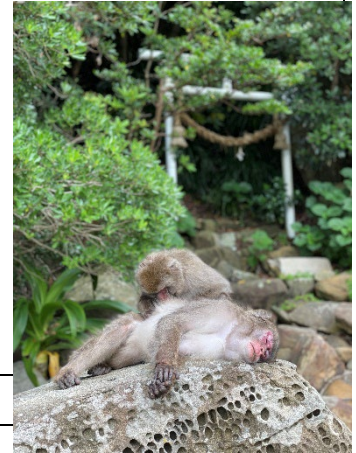


カメラトラップで撮影したイノシシ



都井岬にて、親子

グルーミングをするニホンザル



6



散策で発見したコウモリ